

名前

1. 大豆 2. 米 3. 小麦 4. とうもろこし

1. 17世紀以降にイギリスから移住してきた、主にプロテスタントを信仰する白人である

2. メキシコや中央アメリカなどから移住してきた、主にスペイン語を話す人々である

3. 高度な技術や専門知識を持ち、主にアジア地域からシリコンバレーなどに移住した人々である

4. 北アメリカ大陸に古くから居住していた先住民で、居留地などで生活する人々である

1. 豊富な石油資源や宇宙産業を背景に、メキシコ湾沿岸で急速に発展した。
2. 自動車産業の工場が集中し、かつて「世界の自動車の都」と呼ばれた。
3. 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。
4. 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を利用した、大規模な鉄鋼業の拠点となっている。

1. 原材料となる原油をすべて国内の北海油田から自給し、安価なコストで大量生産を行っているため。
2. 熱帯地方の植民地から輸入した天然原料を、そのまま未加工で再輸出する中継貿易が盛んであるため。
3. 研究開発に基づいた高度な化学工業技術を持ち、ブランド価値の高い高付加価値製品を輸出しているため。
4. 機械工業が発達しているため、経済を維持するために軽工業製品の輸出を政府が義務付けているため。

1. オセアニア州 2. アフリカ州 3. 南アメリカ州 4. 北アメリカ州

1. 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。
2. 北東部の古い工業地帯よりも冬の寒さが厳しく、エネルギー需要に応えるためのインフラ開発が先行したため。
3. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を背景に、大規模な重化学工業の集積が進んだため。
4. 広大な草原地帯を利用した企業的な小麦栽培と、それを加工する食品産業が中心となって成長したため。

1. アメリカは、日本に対しては貿易黒字だが、中国に対しては貿易赤字である。
2. アメリカは、日本と中国の両国に対して貿易赤字の状態にある。
3. アメリカから中国への輸出額は、日本からアメリカへの輸出額を上回っている。
4. アメリカと中国の貿易額の差よりも、アメリカと日本の貿易額の差の方が大きい。

1. シリコンバレー 2. サンベルト 3. 経済特区 4. スノーベルト

(2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本にとってアメリカ合衆国は、自動車などの工業製品の主要な市場となっており、長年にわたり経済的な結びつきが深いため。	2. 日本とアメリカ合衆国は陸地で国境を接しており、トラックなどによる輸送コストが非常に低く抑えられているため。	3. 日本は環太平洋地域のすべての国に対して、一律に20%以上の輸出を行うことが国際的な協定で義務付けられているため。	4. アメリカ合衆国の輸出総額が世界第1位であり、世界中のすべての国にとって最大の輸出相手国となっているため。
---	--	---	---

1. 労働力を安く確保するために、機械化をあえて制限し、周辺国からの季節労働者に依存している。
2. 家族経営を中心とした小規模な農家が多いため、政府による手厚い価格保護が不可欠となっている。
3. 高度に機械化された大規模経営により、国際競争力のある安い価格での大量生産が可能となっている。
4. 多種多様な野菜や果物を少量ずつ生産することで、消費者の細かいニーズに応える直販を主流としている。

1. どの地域でも同じ農作物を均一に栽培することで、国内の食料自給率を安定させることを目的としている。	2. 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けることで、生産効率を高めている。	3. 自然環境による制限を克服するため、全土で同じ灌漑設備を導入し、土地の条件を無視した栽培を行っている。	4. 都市近郊でのみ農業を行うことで、輸送コストを抑える地産地消の考え方を最優先している。
---	---	---	---

1. 輸出を目的とせず、地域の住民が消費するために多様な品目を少量ずつ育てること	2. 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること	3. 消費地である大都市に近い場所に農場を配置し、輸送コストを削減すること	4. 肥料や機械を大量に投入し、自然条件に関わらず同じ作物を全国一律で育てること
--	---	---------------------------------------	--